

OYAKO DAY

親と子の距離がぐっと縮まる  
数々のイベントが  
各地で開催されます。

7月22日です

「親子の日」は

2018年の



親子の日普及推進委員会  
<http://www.oyako.org>

# 7月の第4日曜日は 親子の日 2017年 活動報告書

年に1度、親と子がともに向かい合う日があったっていい。  
その日を通じて、すべての親子の絆が強められたら素晴らしい。  
そんな願いを込めて、7月第4日曜日を「親子の日」にしたいと私たちは考えました。  
2017年は、7月23日が「親子の日」でした。  
みなさまからのご協力をいただき、  
親と子の距離がぐっと縮まる数々のイベントを開催し、  
多くの共感をいただくことができました。

「親子の日」は15回目!  
OYAKO DAY



~present to the future~

「親子の日」は、あなたと育てる「未来への贈物」です!



© Photo : BRUCE OSBORN / OZONE INC.  
Illustration : YURA OSBORN Design : SETSUKO SAWADA



「親子の日」は、あなたと育てる「未来への贈物」です！

～ present to the future ～

5月第2日曜日は、母の日。6月第3日曜日は、父の日。

7月第4日曜日は、**親子の日**。

『生まれて初めて出会う「親」と「子」の関係を見つめることは、家族、地域、社会、そして自然をも含むすべての「環境」に敬意をはらい、平和を願うこと』という思いを込めて、2003年に「親子の日」のオリジネーター、米国人写真家ブルース・オズボーンは、7月の第4日曜日を「親子の日」にと提唱しました。その理念に共感し、「親子の日」に＜世界中の誰もが生まれて来た事を喜べる世界の実現＞への願いを込めて、親子の日普及推進委員会が発足しました。2017年も、「親子の日」を定着させるためのイベントを通じて多くの素晴らしい出会いに恵まれ、非常に成果のあった一年でした。

ブルース・オズボーンの理念と私達の願いを少しでも多くの人たちに届けたいという思いが、年々具体化し、昨年はシンガポールでの展覧会、写真撮影会なども実施。また高松宮賞、秩父宮賞、と並ぶ三大宮賞のひとつ、東久邇宮文化褒賞を受賞いたしました。

“present to the future”という「親子の日」のスローガンが表すように、「親子の日」に込めた思いは、きっと未来への宝物になると信じて、今後も活動を続けていきたいと思っています。

親子の日普及推進委員会  
<http://www.oyako.org>



◆ブルース・オズボーン プロフィール <http://www.bruceosborn.com/>

Art Center College of Design で、コマーシャル写真を専攻。1980年の写真展「LA Fantasies」をきっかけに、日本での活動を本格的に開始。ボストン子供の博物館の企画展「TEEN TOKYO」では、東京のティーンエイジャーを撮影して展示。ボストンのMCET制作、インターネットを使っての双方向教育番組では8回にわたってディレクターを務め、アメリカの高校生にむけて“生の日本情報”を伝えた。1982年から始めた「親子」写真の撮影は今年で34年目になり、撮影した親子の数は6000組を数える。2003年より7月の第4日曜日を「親子の日」にと提唱したオリジネーターで、記念日協会にも登録。2014年に同協会から「記念日文化功労賞」を授与。「親子」をテーマにした写真展は、外国人特派員クラブ、横浜ランドマークタワー、山梨県立美術館、金沢21世紀美術館、愛・地球博園内愛知県児童総合センターなど、各地で数多く開催。2016年に在シンガポール日本国大使館JCCにおいて親子写真の展示会が実施される。2011年の6月から、「親子の日」公式プロジェクトとして被災地訪問を実施。また、「TIE ☆ 会いたい」では、被災地でワークショップを実施。写真を中心に、子どもたちのネットワークづくりを構築。東久邇宮文化褒賞を受賞するなど、親子をテーマとした作品とソーシャルアクションに大きな期待が寄せられている。

<写真集・著書>

「親子」(テレビ出版) / 「Oyako」(INKS INC. BOOKS) / 「KAZOKU」(角川書店) / 「ごめんなさい」(日本標準)  
「反パンビ症候群」(ヒヨコ舎) / 「親馬鹿力」(岩崎書店) / 「この国の環境」(アサヒビール・清水弘文堂書房)



「親子の日」の普及推進にあたって、2017年度は右記の企業と団体のご協力をいただきました

●特別協賛

**OLYMPUS** オリンパス株式会社

**oticon** オーティコン補聴器

**DAC** DACグループ

**PREMIUM OUTLETS** 三菱地所・サイモン株式会社

●協賛

**kao** 花王株式会社

●特別協力

**毎日新聞** 毎日新聞社

**TSUTAYA** 株式会社 TSUTAYA

●協力

フェイスブックジャパン / エプソン販売株式会社

株式会社円谷プロダクション / 協同組合日本写真館協会 / 株式会社浪漫堂

お母さん業界新聞 / 株式会社琉球補聴器 / AXN ジャパン

株式会社キタムラ / スタジオマリオ / 株式会社オゾン

●後援

J-WAVE / よしもと PAPAPARK

●Special thanks

滋賀県米原市 / 石川県珠洲市 / 山口県下松市 / 愛知県児童総合センター

SPACEPORT Inc. / 東京YMCA "liby" / BBスタジオ広尾 / HEARTFUL PHOTO

下松商業開発株式会社 / 一般社団法人日本記念日協会 / 鶴沼海岸チャンネル

鬼頭印刷株式会社 / 株式会社山田製油 / 岩下食品株式会社 / DEAD STOCK UNION



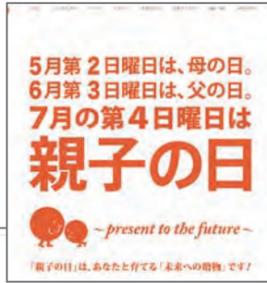
「親子の日」の活動では、グリーン電力(1,000KW)を利用しています

今年は、種子島の中種子町が運営する風力発電所のグリーン電力を使用しました



日・英バイリンガルの「親子の日」情報発信プラットフォームです。「スーパーフォトセッション」で撮影した写真の掲載、「写真コンテスト」と「エッセイコンテスト」の公募と入賞者発表、「親子大賞」の投票と発表など、公式イベント情報とともに、協賛企業での活用例、各地に広がる「親子の日」の情報を掲載しています。

◆ オフィシャルサイト

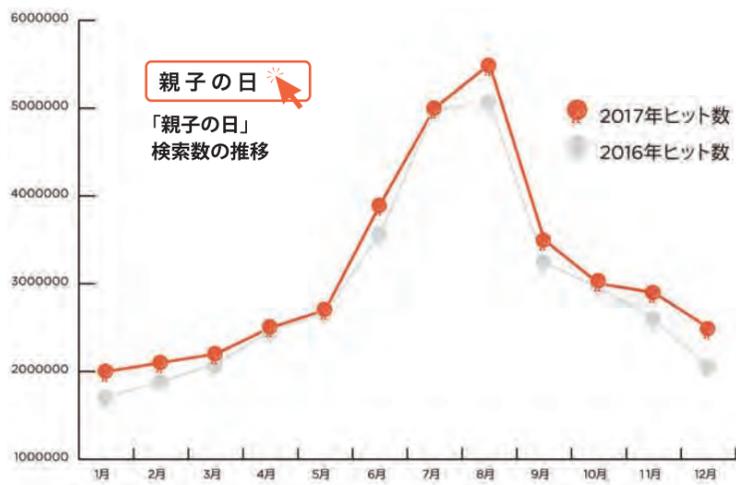


ニュース、エッセイ、映画、ギャラリーほか、見ごたえ読みごたえのある内容を常時更新するコミュニケーションセンターです。「親子の日」に関する充実した内容については、サイトを訪れるみなさまから高い評価をいただきました。



◆ SNSの活用

Facebook・LINE・Twitter・InstagramなどのSNSを活用して、多くの人たちとのコミュニケーションをはかりました。2017年も、GoogleやYahoo! JAPANなどで「親子」または「oyako」を検索すると「親子の日」のオフィシャルサイトが常にトップページにあり、「親子の日」に寄せられる関心の高さを実感しました。



イベントを開催する際には、プロモーションツールとして制作した「親子の日」のグッズなどを、多くの方に手渡しました。積極的なプロモーション活動の結果として、多くの方から共感の声をいただくことができました。

▼ オリジナルポスター《B2サイズ…500枚》



\*協賛企業、写真館などでポスターを貼って普及に役かっただけでした

リーフレット▶ 《三つ折り観音開き…10,000部》



▼ 「親子の日」フライヤー 《公式イベント紹介…30,000枚》



\*フライヤーは「親子の日」の普及、公式イベント告知に欠かせません。2017年も多くの人の協力で、たくさんの方々に手渡されました。



▲ オリジナルエコバッグ《600枚》  
白と黒のシンプルなデザインが好評でした



▲ ピンバッジ《5,000個》

▲ 「親子の日スーパーフォトセッション」撮影参加親子に配られたおみやげセット!

◀ ステッカー《1,500枚》

◀ Tシャツ《200枚》

限定で「親子の日」ロゴマーク入りのTシャツをつくりました



ブルース・オズボーンが2003年に「親子の日」を提唱して以来続けている撮影イベントです。今年で15回目になりました。新聞や雑誌、インターネットを通じて全国から多数の応募者があり、その中から108組の親子をご招待させていただきました。遠方からの参加者もあり、たくさんの人たちの大切な思い出作りに協力することができました。撮影した写真は、後日それぞれの親子に1枚ずつ送付。ウェブサイトとオリンパスギャラリーでの展覧会で紹介しました。



\*今年から「親子の日」の花はひまわり \*撮影スタジオに到着



\*親子でジャンプ!!!!



\*受付する準備が整ってひと息!



\*こんなポーズで撮りたいと、あれこれ考える家族



\*撮る方も撮られる方も一丸となって!



\*撮影前のアンケートにも真剣に向き合っ



\*受付用の写真撮影現場



\*2人でいっしょに考えてきたとおきのポーズで



\*撮影後1枚選んでプリントしたら壁に貼ります  
撮影/田邊哲也(新潟県柏崎市有限会社タナベスタジオ)

\*2017年7月23日「親子の日」スーパーフォトセッション終了後、スタッフの集合写真

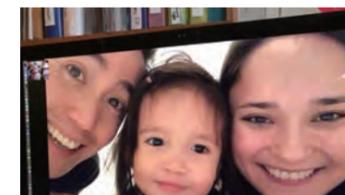


今年もオンラインで  
多元ライブ中継!

◀次々と登場するゲストの話は多種多彩で、思い出話を掘り起こしたり今後の目標など語り合うなどして盛り上がりました

「親子の日」当日、撮影スタジオとなったBBスタジオ広尾にインターネット放送局を開設し、オンライン中継を行いました。今年は初の試みとしてFacebook Liveによる多チャンネルライブ配信を実施し、会場内に配置した複数のカメラを使い、親子の撮影セッション風景や会場内の様子のレポートとともに、ゲストを招いたトークショーや親子エッセイの朗読コーナーなどを番組構成にして配信しました。その結果、配信映像は再生回数1万回以上、約6000時間に及ぶ総再生時間を記録し、例年以上に多くのネット視聴者に「親子の日」の活動に触れてもらえる機会を創出することができました。

協力: 鶴沼海岸チャンネル MC: 関智



▲国内だけでなく、オーストラリア、アメリカなど海外からも、ネットを通じてたくさんのメッセージが届きました

みなさまのサポートに感謝いたします

- ◆青木俊一◆井上佳子◆イノマタトシ
- ◆石川勝一郎◆石川亮介◆岩上円香◆
- 上田 壮一◆江口カエ◆大関 和彦◆隠岐浩史◆
- 実佳オズボーン◆由良オズボーン◆BRUCE OSBORN◆
- 梶原美紀◆金子涼子◆菅野 幸男◆
- 木下聡◆木下都◆岸俊一◆久保光貴◆
- 久保田優子◆河野任慶◆小斎富士子◆
- 櫻井武司◆佐藤仁◆佐藤宏◆
- 沢田節子◆志喜屋秀壮◆関智◆
- 関宴子◆関ひばり◆袖岡敦史◆田中勇樹◆
- 田邊哲也◆田原佳代子◆手塚俊兵◆
- 手塚百音◆長塚かおる◆中内朋子◆
- 樋貝吉郎◆樋貝 美紀◆古河雄太◆福原義久◆
- 松井博司◆松井ひかる◆松浦有◆
- 松崎稔◆宮庄宏明◆元木行哉◆森田わかな◆
- 森田 似季◆柚木公奈◆横山泰介◆
- 渡辺 熱 (五十音順/敬称略)



スーパーフォトセッション当日に、スタジオで撮影した参加者の写真の一部と、みなさまからいただいた応募の動機を紹介します。今年もまた、素敵な時間を一緒に過ごして下さったみなさまに心から感謝いたします。



\*写真家を目指していたので、撮影の仕方を聞きたくてオズボーンさんの写真展に行きました。展示会場でオズボーンさんに会って思ったのは、その人柄が周りの人を巻き込み、撮影される人の表情にも影響するんだろうな！ということ。いつか自分に子どもができれば絶対撮ってもらうんだと、その時に思いました！  
結婚して子どもができた今年、その夢を実現するために、今回応募しました。



\*夫婦ともに写真&カメラが好きで、出かける際などによく撮影をしています。被写体は主に自分の子どもで、なかなかみんな一緒に写真が撮れません。今回は娘の2歳の誕生日という事もあり、3人揃った姿を、オズボーンさんに撮影していただけたらと思い応募させていただきました。

\*中学生になった娘が、今、反抗期の真っ最中。本当に難しい年頃で四苦八苦の日々ですが、家族の絆を深める記念になればと思い応募させていただきました。どんなときでも我が子の成長を見守っていききたいという親の覚悟を写真に記録してください。



\*母から教えてもらった「親子の日」にあわせてサンフランシスコから里帰りの計画です。オズボーンさんが撮った写真が掲載されている「親子の日」のHPの写真は、どの写真を見ても、あたたかさや伝わってきて素敵です。遠くに住んでいるのでなかなか両親にも会えませんが、この機会にみんな一緒に写真を撮ってもらえたら、最高の思い出になります。



\*今年で結婚12周年。息子10歳と娘7歳の親。ぜひともブルース・オズボーンさんに思い出に残る素敵な記念写真を撮っていただきたいと思い応募しました。「親子の日」のHPで見るギャラリーの写真…みんなが個性的でユニークな写真！あんな風に魅力を引き出してもらえたらなーと思っています。



\*子連れ再婚という、とするとインスタントファミリーというイメージがあって薄っぺらに思われがちですが、それを払拭するために、みんなでいろいろなことを体験し共感し、たくさんの日々を重ねて、毎日楽しく過ごしたいと思っています。結婚して半年以上たちましたが、家族そろっての写真をきちんと撮ったことがあまりなかったので「親子の日」をきっかけに撮ってもらえたら最高です！きっと家族の仲が深まるのではないかなと思います。



\*結婚してすぐに、夫の転勤で生まれ故郷を離れて引っ越すことになってしまいました。頼る人が誰もいなく心細い頃に子どもを授かりましたが、夫婦助け合いながら育児をしています。子どもが成長したら、きっと親子の関係も変化していくと思いますので、10年間の思い出となるような今の私たちの幸せな姿を記録していただきたいです。



\*定年まで努めた会社を退職し、主人が家人となりました。この変化の年の記念として、忙しかった主人を交えて撮ってもらえたらと思って応募いたします。我家はどんな姿になるんでしょう？ 楽しみな反面、心配です。



\*2年前に「親子の日」のフォトセッションに参加した友人から「親子の日」の事を教えてもらい、感動いたしました。その上、FBで拝見した彼らの親子写真は、みんな楽しそうな表情で、私たちもぜひ撮って欲しいと思ったのを記憶しています。短期間ですが、今年の夏はロサンゼルスから里帰りして、子どもが日本の幼稚園に通うことになりました。友人家族のような素敵な写真を、ぜひオズボーンさんに撮って欲しいと思います。



\*身近に子どもがいなかったこともあり、子どもが生まれた時にどう感じるか想像できませんでしたが、いざ生まれてみると、想像を絶する程にかわいくてかわいくて仕方ありません。今の思いをそのまま封じ込めるような写真を撮っていただきたいと思って、今回応募しました。歩き出したり喋り出したりした我が家の天使と私たちを撮って下さい。

\*結婚して10年目にやっと我が家に来てくれた娘。「親子の日」という特別な日に、家族3人で写真を撮っていただけたらとても良い記念になると思います、応募しました。よろしくお願いします。



\*我が家のリビングルームの壁には、ブルースさんに撮ってもらった親子の写真が並んでいます。私たち親子の成長をこんなにイキイキとユニークな形で残せるとは思ってもいませんでしたので、私たちにとってこの写真はかけがえのない宝物となっています。子どもたちが大人になり、私たち親がいなくなった後でもこの写真達は我が家の宝としてずっと大事に受け継がれていくでしょう。できれば、もう1枚このコレクションを増やせれば嬉しいです。



\*オズボーンさんが出演したテレビ番組の「ワタシが日本に住む理由」を見た時に初めてブルースさんのことを知りました。妻が妊娠したのがきっかけで、オズボーンさんが活動として続けているスーパーフォトセッションのことを思い出して応募しました。親と一緒に写っている写真といえばお互いに真面目な表情をしたものばかりで、テレビの番組で見たオズボーンさんの写真のような弾けた笑顔で写っている親子写真を撮ってもらったことはありません。全員が笑顔で写った写真を撮ってもらえたら、自分の親への親孝行になると同時に子どもが大きくなった時にその子にも昔話として楽しく話して聞かせてあげられるのではないかと思います、応募させていただきました。



\*離婚して3年経過。それぞれの夢に向かって、まっすぐ進む自慢の息子達。全くタイプの違う3人ですが、私たち親子はなかなか良い三角形！私たち親子の「今」、オトナになりきる前の息子達の「今」を、ブルース・オズボーンさんに撮っていただきたいです。よろしくお願いします。



写真コンテストは、今回で14回目をむかえました。  
2017年も、オリンパスが運営する写真投稿コミュニティサイト「FotoPus (フォトパス)」をプラットフォームとして運営。応募総数は1644点。個性の光る作品が多く集まり、審査員も楽しみながら審査することができました。  
毎日新聞社において厳選な審査を行なった結果、20点の受賞作品が選ばれました。



◆ 親子の日写真コンテスト <グランプリ>



「娘とデートなう」 Masa

◆ オリンパス賞



「一緒にあるこう」  
ゆかんこ 8787



「手術成功」  
よっしー77

▼「FotoPus (フォトパス)」の  
公募ウェブサイト



▲オリンパスが写真コンテストの  
公募に「FotoPus (フォトパス)」を  
提供して下さった結果、コンテ  
ストへの参加者が年々増え、また  
送っていただく写真の内容もバラ  
エティーに富むなど、嬉しい変化  
が見られるようになりました

◆ オーティコンみみとも賞



「どうかしら!？」  
みみちゃんぺ



「早く逢いたいな」  
にじは



「甘い大好き」  
鈴鹿山太郎

◆ DAC NIKI Hills 賞



「親子4世代」  
haruka1213

◆ 三菱地所・サイモン賞



「親子三代のお散歩!!」  
Ichigen



「重くなったなあ〜」  
♪みやみい♪



「特等席から見る花火」  
リンナ

◆ エプソン賞



「ごっつんこ」  
ぼんじゅ

◆ 毎日新聞社賞



「母子の時間」  
aym.b



「四畳半の啓示」  
ザル洗い



「誇り」  
kai\_naito

◆ 円谷プロ賞



きた!  
ハタユカ

◆ 「親子の日」賞



「ひまわりの咲く道」  
あっち21



「田植えのころ」  
鼻まがり



「親子対決」  
cheki610



「いないいないばあ」  
つなぐゆめ



「ほら、お日さまが3つだよ!」  
ありみ

12回目のエッセイコンテストには966点もの作品が集まりました。  
学校単位で応募して下さるケースや海外に住む方からの応募もますます増え、  
異なる環境や背景のさまざまな親子のストーリーは、審査員の心に深く響き、  
みなさまからの思いが伝わる作品に多く出会うことができました。  
受賞者は以下の17名に決定いたしました。



◆ 親子の日エッセイコンテスト <グランプリ>

原田恵李 (兵庫県姫路市)  
「もっと違うママが良かった!」

◆ オーティコン賞

今田尚輝 (北海道函館市)  
「七色のアイスクリーム」  
池田太一 (大阪府岸和田市)  
「まばたき」  
山本榮一 (埼玉県春日部市)  
「憧れのふたり飲み」

◆ 「親子の日」賞

北岡直子 (アメリカ在住)  
「親になった日」  
中野順 (大阪府藤井寺市)  
「父とメリーゴーランド」  
大橋里香 (三重県熊野市)  
「母は応援団長」  
星野有加里 (宮崎県延岡市)  
「みかん」  
大江美典 (兵庫県西脇市)  
「焼き魚の日」

▼毎年公式サイト以外にもさまざまなメディアを  
通じて公募を呼び掛けています



第11回 2017年の親子大賞に輝いたのは…  
アニマル浜口さんと浜口京子さん親子!

「親子」について考えるきっかけになって欲しいとの願いから、輝いている親子を投票で選ぶ「親子大賞」を毎年実施しています。今年で11回目となる2017年の「親子大賞」に選ばれたのは、アニマル浜口さんと浜口京子さん親子! 親子の日普及推進委員会からの証書と副賞を受け取っていただきました。



▲2016年に「親子大賞特別賞」を受  
賞した平原綾香さんのライブにうか  
がって再会を喜びました。  
写真左はお父様の  
平原まことさん

▲お2人から展示会場に届  
いたお祝いの花

◆ 毎日新聞社賞

佐久間可奈 (千葉県鎌ヶ谷市)  
「ただ一緒にいただけ」  
山本篤 (新潟県長岡市)  
「お嬢さん、オムライスをどうぞ」  
高田瑞萌 (広島県福山市)  
「おかあさんはおとうさん」

◆ 円谷賞

植原香織 (福岡県大野城市)  
「お兄ちゃんのタヌキ寝入り」

◆ TSUTAYA 賞

河村彩菜 (千葉県千葉市)  
「それが答えだ!」



## DACグループ

DACグループは、2013年から「親子の日」特別協賛企業として普及推進のお手伝いをしてくださっています。第5回を終えた、一般社団法人DAC未来サポート文化事業団主催の「親子の日 絆 (KIZUNA) コンクール」には、全国の小学生から「親子の絆」をテーマとした作文+絵（もしくは写真）の作品が今年も数多く集まりました。ブルース・オズボーンを審査委員長とする審査会では、最優秀賞（8組）と優秀賞（30組）、審査員特別賞（5組）を選出。最優秀賞受賞者には、特典として8月1日～3日に東京、8月7日～9日に北海道のいずれかの親子旅行が贈られました。



▲「親子の日 絆 (KIZUNA) コンクール」表彰式



▲「親子の日 (KIZUNA) コンクール」レポート



▼DAC<CSR>活動情報

### 親子の日への応援メッセージ

2011年3月11日東日本大震災により、当社東北支社が被災しました。そんな折、私の心を慰めたのは、東北支援に尽力する日本人の姿です。改めて人と人との絆を考えさせられました。ブルース氏と出会ったのは、その翌年のこと。当時彼は被災した東北地方の親子を撮影し終え、「東日本大震災 復興支援ブックレット」を制作している最中でした。その作品には、多くの明るい笑顔がありました。「被災した東北で大切なのは、親子の絆です」という言葉に共感したことが、彼との親交の始まりでした。現在、私が代表理事を務める一般社団法人DAC未来サポート文化事業団で主催する「親子の日 絆 (KIZUNA) コンクール」は、そんな「親子の絆」をテーマとした作文・絵・写真を募集し6年目を迎えています。これからも、コンクールを通じて、「親子の日」の普及活動の一助を担っていきます。



DACホールディングス 石川和則

## 三菱地所・サイモン株式会社

特別協賛企業として「親子の日」の普及に協力をいただいて4回目になる三菱地所・サイモン株式会社は、仙台泉（宮城県仙台市）、あみ（茨城県稲敷郡阿見町）、酒々井（千葉県印旛郡酒々井町）の3つのプレミアム・アウトレットに今年もお客さんを招待して親子写真撮影会を実施。年々応募者も増えて定着してきた本イベントはお客様からも高い評価をいただくことができました。



◆各地の「プレミアム・アウトレット」での撮影写真



### 親子の日への応援メッセージ

当社は全国9箇所に「プレミアム・アウトレット」を運営しております。ご家族での来場が多い施設で、「大切な人と、お買い物だけではなく、楽しい一日の思い出を持ち帰ってもらえる場所でありたい」と考えている中で、「親子の日」の理念に感銘を受け、2014年より、あみ、酒々井、仙台泉の3施設において、親子撮影会を行っています。4年間で297組、1,073名の皆様にご参加いただきました。参加者の中には、普段は一緒にお買い物に来られないお父様や、眠くて泣きだしてしまうお子様もいらっしゃいますが、ブルースさんの掛け声で撮影が始まるとたちまち笑顔になり、でき上がるお写真はアウトレットでとても楽しい「親子」の姿が写されています。そんなご家族の素敵な思い出の一部になれることを非常に嬉しく思っております。これからもぜひ、笑顔溢れる「親子」の写真を撮り続けてください。



三菱地所・サイモン株式会社 代表取締役社長 山中拓郎

## 花王株式会社

「親子の絆特集」として製作されたWEB限定ムービー「親子は続くよ」は、母親の介護によって気づいた「親子の絆」の物語。このムービーは「親子の日」の7月23日からネットで配信されて、新しいオーディエンスに「親子の日」を知っていただくことができました。



## 毎日新聞社

特別協力として応援してくださっている毎日新聞社が「親子インタビュー」の記事を定期的に紙面展開して下さるようになってから9年目になります。掲載紙面には、さまざまなフィールドで活躍する親子が登場し、「親子」について考えるだいなきっかけとなる貴重なストーリーをうかがうことができました。

### ★毎日新聞「親子インタビュー」シリーズ



▲吉田幸代×吉田沙保里親子\*5月6日(土)掲載



▲飯塚考至×飯塚翔太親子\*6月26日(日)掲載



▲パメラ・キニー×テイラー・キニー親子\*7月23日(日)掲載



▲毎日新聞ウェブサイトで紹介された、TSUTAYA「親子の日ブックカバー」の情報

### 親子の日への応援メッセージ

毎日新聞社が「親子の日」の特別協力になって9年が経ちました。読者に「親子の日」の活動を知ってもらうとともに、業界を問わず多くの親子の姿を紙面に掲載してきました。良好な関係を続ける親子もいれば、仲違いした中で改めて互いの絆の強さに気付かされた親子など、その関係はさまざまです。しかしそこに唯一共通するものがあるとすれば「親子だからこそ成り立つ関係」です。今後も読者に千差万別な親子関係を紹介することで「親子の日」を応援していきます。

◆毎日新聞社からもあたたかいメッセージが届きました



▲マイアイで、ふくしま「ふるさと写真の日」写真展を紹介

### 株式会社円谷プロダクション

年間を通じて、多種多様な場面で「親子の日」を応援していただきました。2017年のカレンダーにも7月第4日曜日の「親子の日」を掲載して「親子の日」認知の向上に力を貸していただきました。



▲カレンダーやネットで効果的に露出していただきました

### フェイスブック ジャパン

Facebook を通じてつながった人と人の出会いを描く動画プロジェクト “Your Story Your Facebook” は、親子のストーリーを「親子の日」当日からネットで配信。親子に焦点を当てた感動的な内容のムービーは、「親子の日」のプロモーションに非常に効果的で、結果としてたくさんの人に「親子の日」を知っていただくことができました。



▲Facebookの映像は多くの人に感動の輪を広げることができました

### 株式会社 TSUTAYA

全国で書店を展開する株式会社 TSUTAYA は、「TSUTAYA が本との出会いを変える」をコンセプトに、7月23日(日)の「親子の日」に向けて、本を媒体として親と子のコミュニケーションを深めてもらえるよう、〈TSUTAYA「親子の日」キャンペーン〉を開催。親から子どもに本を贈り、普段言葉にできない想いを伝え家族がつながることを目的に、7月3日(月)～7月31日(月)の期間中、「親子の日」オリジナルブックカバーとメッセージしおりを配布。「親子の日」への応援をしていただきました。また、カメラのキタムラとスタジオマリオなど、関連する企業でも独自の展開で「親子の日」への応援を企画し実施していただきました。



▲TSUTAYA「親子の日」ブックカバー

▲TSUTAYA「親子の日」ポスター ▲書店内での展開例



▲MX テレビでも紹介されました

### AXN

昨年に続き「親子の日」を応援して下さった海外ドラマ配信チャンネル AXN は、〈スカパー！ AXN 新規加入者限定「親子フォトセッション」招待キャンペーン〉を展開して「親子の日」を盛り上げていただきました。また、番組のキャンペーンで来日中だったテイラー・キニー親子の写真撮影の機会をいただき、撮影した写真は毎日新聞の「親子インタビュー」にも掲載されました。



### 協同組合日本写真館協会の取り組み

2017年の「親子の日」に参加していただいた写真館は36店舗でした。それぞれの写真館で撮影された写真の中からセレクトした写真は、オリンパスギャラリーで行ったブルース・オズボーンの写真展と同時に展示し、「親子写真マイスター」としての称号が授与されました。2018年に向けて更に多くの写真館が参加していただくための試行錯誤を今後も重ねていきたいと思ひます。日本写真館協同組合以外の写真館も参加して下さったことも追記させていただきます。



★第11回日本写真館賞で今年の「親子の日普及推進委員会賞」を受賞したのは、モナミ写真館の兵藤康裕様でした。兵藤様には審査委員のブルース・オズボーンから賞状と副賞が贈られました

◆写真館による個性の豊かな親子写真が好評でした



◆協同組合日本写真館協会が隔月で発行する「ザ・写真館」には、毎月「親子の日」通信として「親子の日」の情報が掲載されています

5月第2日曜日は、母の日。  
6月第3日曜日は、父の日。  
7月の第4日曜日は  
**親子の日**  
今年の「親子の日」は7月23日

「親子の日」は、「生まれて初めて出会う「親」と「子」の関係を  
つづれ、愛情、絆、社会、そして自然も含むすべての環境に  
敬意を払い、平和を願ふ」という思いを込めて、写真家のブルース・オズボーンが提唱。2003年からじまっています。今年も「親子の日」は、7月23日 / 今年も様々なイベントを開催しています。

親子の日普及推進委員会  
BRUCE OSBORN ブルース・オズボーン

全国で「親子の日」応援写真館が撮影会を実施いたします。  
親子にとってかけがえのない「今」を写真館で記録しませんか？

「親子の日」とは？ [www.ayako.org](http://www.ayako.org)

**「親子の日」には写真館へ**  
*present to the future*

全国394店のスタジオマリオでも「親子の日」を応援しよう！  
毎月「ザ・写真館」を毎月発行！  
7月22日(土)～7月28日(金)

協同組合日本写真館協会 [www.shashinkan.com](http://www.shashinkan.com)

北海道 札幌市	チリダ写真スタジオ	0153-73-3334
北海道 札幌市	協栄写真館	0229-42-2074
北海道 札幌市	ワイルドフォトスタイル	0237-53-2754
北海道 札幌市	写真館	03-3881-7641
東京都 中央区	協栄写真スタジオ	03-3400-2311
東京都 中央区	協栄写真スタジオ	03-3684-1288
東京都 中央区	協栄写真	03-3881-7199
東京都 中央区	協栄写真	044-222-3456
東京都 中央区	協栄写真	0277-32-2600
千葉県 千葉市	CS小写真館	0120-753-017
千葉県 千葉市	モリスフォトスタジオ	0438-52-2616
千葉県 千葉市	協栄写真	0475-22-2545
千葉県 千葉市	協栄写真	0494-22-1669
千葉県 千葉市	協栄写真	0289-85-2666
千葉県 千葉市	協栄写真	0284-71-2008
千葉県 千葉市	協栄写真	029-303-3101
千葉県 千葉市	協栄写真(セブンスビル)	0120-830-2768
千葉県 千葉市	協栄写真	029-10-1010
東京都 中央区	サンディング写真館(本館)	0354-32-2617
東京都 中央区	サンディング写真館(小館)	0258-83-2705
東京都 中央区	ヒロシフォト	0766-55-0483
東京都 中央区	フォトリエアディ	0761-61-0144
東京都 中央区	協栄写真	055-987-2511
東京都 中央区	マンダ写真館	0575-33-0316
東京都 中央区	協栄写真	06-6841-7771
東京都 中央区	スタジオ栄光	0780-43-1450
東京都 中央区	本写真館	0781-52-4910
東京都 中央区	オウチ写真館	079-288-3090
東京都 中央区	アケミ写真館	079-422-4423
東京都 中央区	あけぼのスタジオ	084-934-4649
東京都 中央区	八雲写真館	0833-53-2265
東京都 中央区	協栄写真	0781-52-4910
東京都 中央区	アールスタジオ	0898-64-2318
東京都 中央区	中央スタジオ	0955-37-1000
東京都 中央区	さかし写真館	099-33-1111
東京都 中央区	協栄写真	09-33-1111

毎日新聞に掲載された「親子の日」に参加した写真館リスト



大林宣彦 / 映画監督



親子の絆は縦軸のコミュニケーションである。現在と過去、現在と未来を結ぶ時間を豊かにしてくれる。情報社会は横軸の世界を広げてくれたが、縦軸の約束を忘れてきた。その事が現代の不幸を多くを生んだと反省する今、親子を結ぶ物語が切実に必要だ。「親子の日」を応援します。

磨 赤兒 / 舞踏家



母は私にとって、人生で一番大切な人の一人です。古来から親子の関係はあらゆる劇性の源である。これからは親子の関係のより豊かな「場」を発明しなければならない。人類の未来のために。「親子の日」を応援します。

平原まこと / サックス奏者 平原綾香 / 歌手



ブルース・オズボーンさんが提唱している「親子の日」は、今年で15回目を迎えます。親が子どもを思い、子が親に感謝することを、日々の中で当たり前前に思っているはずですが、この日は特に「親と子がお互いのことを強く思う日」と位置づけられたら、もっと素敵に生きられるのではないかなと、家族で話し合っています。これからも「平原さんちのコンサート」を通して、音楽で語り合う時間を大切にしていきたいです。これからも「親子の日」を応援しています。

つるの剛士 / 俳優、タレント、ミュージシャン



ボクの生き方マニュアルはズバリ両親です。そしてボクの子どもたちにもいつかそう感じて貰えるように日々、親子で愉しく生きていきたいと思ひます。ステキな親子サイクル。ボクは「親子の日」の活動を応援させていただきます。

テイラー・ケニー / 俳優



母は私にとって、人生で一番大切な人の一人です。今の私があるのは、母のお陰だと思っています。今回二人にとって初めての訪問となった日本への旅はとてもいい記念となりました。その上、毎日新聞の特集「親子トーク」の為に、ブルースさんに写真までとって頂いたことで、もっとスペシャルな経験になりました。ブルースさんに撮って頂いた写真を見ると、この楽しかった旅を思い出すこともできます。この写真は、私達だけではなく、日本の沢山の皆さまにとっても、「親子」の関係の大切さを考える良いきっかけになると思います。

大竹しのぶ / 女優 タレント



私が父から、母から教えて貰ったこと、それが、二人の子供達につながってゆく。ほんの小さな生活習慣であったり、思想であったり、でも、何よりも受け継がれてゆくものは、やはり愛である。いつか二人の子ども達が親になった時、その想いをわかってくれたら、こんな幸せなことはない。だいじなメッセージを受け継いで行くために「親子の日」を応援します。

コシノジュンコ / デザイナー



私も親になって35年、その子が親になって11年。早いものです。子どもってスクスク伸びるように育っていくものだなあとつくづく思う。そしていつの間にかしっかり親をやっている。親の役目があつという間に過ぎていくのは悲しいけれど、日本の人口の一部として大いに役立っていることは確か。みんな親になってやっと自分の親の気持ちがわかる。親子の縁というのははず〜と繋がっていて、何かしら同じように動いたり、話したり、笑ったり。似てるのかなと思うと全然ノリが違ったり。だから面白いのかなあ。でも、ちょっとした拍子にそっくりだったりして。蛙の子は蛙なんだなあ、改めて思う。「親子の日」応援します。

陽 捷行 / 前北里大学副学長 財団法人微生物応用技術研究所農薬大学校長



古往今来という言葉があります。昔から今に至るまでといったごく当たり前の言葉ですが、今ではほとんどの若者が知りません。われわれは分離の病に憑かれています。人類来し方の潮流を、点でしか見れない、時空を超えた視点で世界を観る力を失っているのです。「われわれは、どこからきて、いまどこに行こうとしているのか」。この命題は、人、集団、組織、社会、国家、延いては自然を含めた生命すべてに、いつも付きまといまいます。ブルースさんと佳子さんの仲間は、この命題の重要性を「親子」という、最も基本的なところで人びとに提示してくれています。「親子の日」という企画は、「親子」から「親子孫」という形でさらなる発展を遂げる可能性を秘めています。日本語は、「親子」という言葉をもっています。ブルースの仲間は、いつかこのすばらしい日本語を発酵させてくれるでしょう。

安田祥子 / 声楽家



オズボーンさんに毎日新聞の親子インタビューで写真を撮っていただいたことで、親としての責任の重さ、いくつになっても子どもは愛おしいもの、そんな当たり前の親子の関係をあらためて考える機会となりました。写真は見えなかった人の心を写し出し、いつまでも手元に残すことが出来ます。各々が違う環境の中で生活している私たちにとっては、この日のことを思い出す大切な一枚の写真になりました。これからも親子の絆を強めつつ、この素敵な「親子の日」普及のための応援をさせていただきます。

梅沢富美男 / 梅沢劇団3代目座長



娘と一緒にブルースさんに撮ってもらった親子写真の中の僕は、今まで撮ったどんな写真よりいい顔をしている。きっとこれから撮るどんな写真よりいい顔をしている。親子って最高！「親子の日」最高！

五十嵐威暢 / 元多摩美術大学学長 彫刻家 デザイナー



オズボーンさんの親子の写真は、人と人をつなぎ、そこに美しい笑顔というプレゼントを贈ってくれています。その美しい写真の数々を見ていると、これは写真という芸術が持つひとつの理想郷に近づきつつあることを実感いたします。私たちに親と子をつなぐ新しい機会を提供してくれるブルース・オズボーンさんの永年にわたる「親子の日」の活動を応援しています。



ウルトラの父

親子の日の活動は、M78星雲にも届いている。地球だけでなく、宇宙全体で親子を語る日ができるように協力したいと思う。

ウルトラの母

ウルトラマンタロウはもちろん、ウルトラ兄弟や、ウルトラ戦士は、私の大切な子どもです。どんな形の親子であっても、親子は親子。親子を考える日があるのは、とても素敵な事ですね。親子の日を応援します。

ウルトラマンタロウ

まだ1万2千歳の私だが、何歳になっても父と母の子。ウルトラの父とウルトラの母の子である事を誇りに思う。1万3千歳になった時には、記念としてもう一度ブルース・オズボーンに写真を撮っていただきたい。M78星雲光の国での撮影会もお願いしたい。皆楽しみに待っているぞ！親子の日を応援します。



◆ ブルース・オズボーン写真展

～「親子の日 2017」に出会った親子～

「親子の日 2017」に撮影した 108 組の親子写真を、9月 15 日（金）～ 9月 20 日（水）オリンパスギャラリーに展示。今年もたくさんの人たちが会場に訪れてくださいました。

メインギャラリー脇のミニギャラリーには、日本写真館協会のメンバーによる親子の写真も展示され、来場した人たちに写真館が撮る新鮮な表情の写真を見ていただくことができました。



▲ 熱心に写真を見たりメッセージを読んだりして下さって、会場は賑わっていました



▲ 今年も手際良く写真を設営するスタッフのみなさん

▲ 多くのメディアが取り上げてくださったおかげで、たくさんのみなさまが写真展を見に来てくださいました

◆ エプソン販売株式会社

「親子の日」当日に行うスーパーフォトセッションの会場に必要な、モニターやプリンター、当日の印刷物に使う紙とインクは、今年もエプソン販売株式会社にご提供いただきました。9月のオリンパスギャラリーでの親子写真展示会での作品制作にもご協力いただきました。



◆ ふくしま「ふるさと写真の日」

東日本大震災から6年が経過。ふくしま「ふるさと写真の日」実行委員会の依頼を受けて「ふるさとアイデンティティのつながり継承事業」のために、再び福島を訪れて、被災地で暮らす親子の撮影をしてきました。撮影した写真は2011年に撮影した写真とともに、東京都港区 GLOCAL (2/6～2/12)、福島県郡山市 福島コトひらく (2/14～2/19)、福島県福島市 コラッセふくしま (2/21～2/26)、東京都千代田区 日本外国特派員協会 (3/3～3/31)、神奈川県逗子市 逗子文化プラザ (3/25～3/26)、神奈川県葉山町 まなばな葉山 (5/3～5/5) の6ヶ所で巡回展示会を実施しました。



日本外国特派員協会での展示会



▲ 被災地に思いを寄せ展示を見るみなさん。GLOCAL (港区)での展示会



▲ 「逗子トモイクフェスティバル」で、震災当時と今の被災地の様子「親子が繋ぐふるさとへの心」を展示



◀ コミュニティカフェ「心花」で展示

◆ ～ HAYAMA TIME ～ 「親子の数だけ親子の物語」

葉山芸術祭の参加作品として、葉山で撮影した親子の写真を神奈川県葉山町にある森戸神社に展示。また町内の掲示板 54ヶ所全てに1枚ずつ異なった親子の写真を展示しました。(4/26～5/10)



森戸神社の展示風景



▲ アフタースクール「まなばな葉山」で展示

▲ 町内の掲示板が展示会場に

◆ 沖縄「親子の写真展」

イオンモール沖縄ライカム (10/7～10/8) と、ジュンク堂書店那覇店 (10/10～10/15) の2会場で、沖縄の親子写真の展示会が行われました。予想を大きく上回る来場者がありたくさんの人たちに写真を見ていただくことができました。また会場内に設置したメッセージボード、「親子の壁」には、たくさんの温かなメッセージを書いていただくことができました。



▲ 「親子の壁」を埋め尽くしたたくさんのメッセージ

イオンモール沖縄ライカム 展示風景



▲ ジュンク堂の展示会

◆ 逗子高校ワークショップ

総合学習の一環で実施している神奈川県立逗子高校のワークショップは、1月23日と30日に行われました。「写真の可能性」がテーマ。東日本大震災後に「親子の日」が東北で行ったワークショップ「ITIE☆会いたい」の形式を生かして生徒たちが日常の思いを写真に収めました。作品は、逗子市の市民センターで行われたイベントで展示。ワークショップの成果を町の人たちに見てもらおうことができました。



◆ 葉山マリンフェスタ

今年で9年目となった葉山マリンフェスタに「親子の日」が参加。9月3日、会場となった神奈川県葉山公園園下の大浜で、撮影会「BRUCE OSBORN-Barefoot Studio」を実施。砂浜と海と空を背景に、会場を訪れた親子の写真を撮ってプレゼントをしました。当日は、天候にも恵まれ、潮風が心地よい浜で、たくさんの親子と楽しい時間を過ごしました。



◆ 「親子の日」×一色 boat

神奈川県葉山町一色で今年スタートした一色 boat が、「親子の日」にちなんで親子で来店したお客様に限って、手漕ぎボートを1時間無料でレンタルするサービスをしてくださいました。晴れ上がった夏の日の嬉しいサービスをたくさんの親子が楽しんでくださいました。



◆ ケンコー・トキナ & Heartful photo ジョイントイベント

写真家の熊谷正さんと高橋まゆみさんのユニット「Heartful photo」による親子撮影会が、中野区のケンコー・トキナスタジオで、7月22日（土）に行われました。



◆ 山口県下松市

2013年に「親子の日」を公式に条例化した山口県下松市では、今年もさまざまなイベントを企画。親子が近づくための町ぐるみの事業が繰り広げられ、ラジオや新聞のメディアでも多く取り上げられました。



▲ イベントが目白押しで町中に活気があふれました ▲ 混声合唱風景

▲ 子ども会企画の事業は今年の新しい試みです



◆ 福島県

ふるさとアイデンティティのつながり継承事業  
平成28年度地域経済産業活性化対策（被災12市町村における地域のつながり支援事業）～ふるさとアイデンティティのつながり継承事業～として採択されたプロジェクト「くふくしま「ふるさと写真の日」」に参加。福島県の被災地を訪れて親子写真の撮影をした作品を、2017年2月から、東京、郡山市、福島市などの皆さんに見ていただくために巡回展を実施。



▲ 福島民報のデータベース「おでかけ」のサイトに取り上げていただきました



▲ 地元に住む人たちとの交流の場ともなりました



◆ 沖縄県本部町

沖縄県本部町では、「もとぶまちぐわ親子の日実行委員会」主催の親子撮影会が行われました。これは、「親子の日」の普及のために本部町で親子写真撮影を続けてきた写真家の石引まさのりさんの努力が実ったもの。今後も続くイベントになるようですので楽しみです。



▲ 手作り感いっぱいの温かい看板 ▲ NHK沖縄支局の取材風景



▲ もとぶまちぐわ親子の日実行委員会」が設営した本部のスタジオには、外国人観光客も加わり町内外の親子でにぎわいました



▲ 楽しかった「親子の日」の一日が写真からも伝わってきます

◆ 愛知県長久手市

愛・地球博記念公園内にある愛知県児童総合センターは、恒例の「お父さん応援キャラバン隊」家族の嬉しい顔」写真展を実施。セルフタイマーで撮る「家族の嬉しい顔」の写真を会場いっぱい展示した。



◆ 神奈川県逗子

大人も子どもも楽しめるイベント「逗子トモイクフェスティバル」に参加。ブルース・オズボーンが講師をつとめたワークショップで逗子高校の生徒たちが撮影した写真を展示しました。



◆ セレモ

一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会会員、千葉県船橋市に本社を持つ株式会社セレモが発行する折り込みチラシに、親子写真を使って「親子の日」のプロモーションを実施していただきました。



—映画「OYAKO」の展開—

「親子の日」10周年を記念して製作した映画「OYAKO」の配給をお手伝いしてくださっている株式会社BBBと全国のミニシアターへの映画紹介をしてくださるPOPCORNのサポートで、映画がみなさまのお手元に届きやすくなりました。まだまだ見ていただけてない人が多い映画です。新しいチャレンジで視聴者が増えることを願っています。



◆ BOOK

\* 「私、日本に住んでいます」

岩波ジュニア新書

スリランカ出身で日本在住のジャーナリスト、スベンドリニ・カクチさんが、日本に住む外国人から見た日本の印象をまとめたジュニア向けの書籍にブルース・オズボーンの「親子写真から見えてくるもの」というタイトルの記事が掲載されました。



◆ 雑誌

\* 「surfers」

湘南のレストランバー「surfers」の季刊誌



\* 「ぶらり能登」

震災をきっかけに縁が繋がった能登の情報紙にも記事を掲載



◆ 新聞

\* 「お母さん業界新聞」

全国で10万人の読者を持つ「お母さん業界新聞」は、「スーパーフォトセッション」で撮影した親子写真をインタビュー記事とともに毎号掲載して「親子の日」を盛り上げていただきました。



▲「お母さん業界新聞」親子写真

\* 「産経新聞」



◀「ぶらり能登」ぶらり能登と写真の日『活動の様子取材していただきました』

◆ TV

\* 「私の書斎から」 沖縄テレビ / 11月8日放送

好きな本を紹介する番組でブルース・オズボーンは、盲目のイラストレーター、エムナマエさんの「いつか誰でも」を紹介しました。



\* 「ハマナビ」テレビ神奈川 / 7月22日放送



◀「親子の日」に因んだイベント紹介コーナーが特集で放送されました

◆ ラジオ

Inter FM、J-WAVE、湘南ビーチFMなど、ラジオを聞いた視聴者から、「スーパーフォトセッション」への応募者がたくさん増えてきました。

\* Inter FM 「Barakan Beat」



\* Inter FM 「LAZY SUNDAY」



\* J-WAVE 「getnews」



\* 湘南ビーチFM 「DAILY ZUSHI HAYAMA」



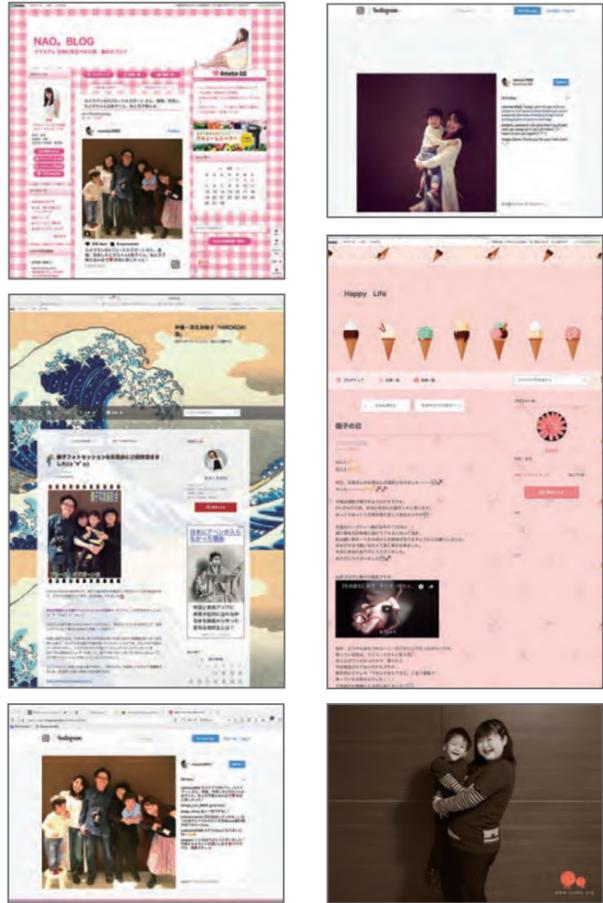
\* トヨタ自動車株式会社

トヨタ福祉車両ウェルキャブスペシャルムービー「親子に同じ質問をしてみた」篇が「親子の日」にちなんだ映像をUP。再生回数は500万回を超えたそうです



\* Ameba

ブログサイト「アメーバ」主催の撮影イベントに参加したみなさまがブログにたくさんの記事を書いて応援してくださいました



\* 子どもと暮らし



\* Walker +



\* e\_park



\* fotowa



\* japanese\_calendar



\* blog\_goo



\* GANREF



\* garow



\* 沖縄県聴覚障害児を持つ親の会



\* キッズイベント



\* ikuya\_motoki



\* 雑学ネタ帳



\* つむらや



\* 佐藤美樹オフィシャルブログ



\* Instagram



◆ TV

\* NHK WORLD「JAPAN EAZY II」My Favorite Japan

出演者が選んだ2つの言葉をもとに日本を紹介する番組。ブルース・オズボーンが選んだ言葉は「親子」と「鍋」。



◆ 雑誌

\* NUMBER 1 SHIMBUN



◆ 日本外国特派員協会が毎月発行する「NUMBER 1 SHIMBUN」に紹介されました



# 「親子の日」のあゆみ

**2003 初めての「親子の日」**  
ブルース・オズボーンの自主企画として100組の親子を撮影  
・「親子の日普及推進委員会」発足

**2004 2回目の「親子の日」**  
「親子の日スーパーフォトセッション」で100組の親子を撮影  
・オリンパスギャラリーにて「親子」写真展  
・第1回「親子の日写真コンテスト」

**2005 3回目の「親子の日」**  
「親子の日スーパーフォトセッション」で100組の親子を撮影  
・「親子の日」を記念日協会に正式登録  
・TV金沢の主催により金沢21世紀美術館で「親子」写真展。会場内特設スタジオでの公開親子撮影会で石川県の親子30組を撮影

**2006 4回目の「親子の日」**  
「親子の日スーパーフォトセッション」で105組の親子を撮影  
・日本外国特派員協会(FCCJ)にて、「親子」写真展  
・日本写真館協会の主催イベントで大阪の親子30組を撮影  
・愛知県児童総合センターで「親子」写真展  
・第1回目「親子の日エッセイコンテスト」  
・オリンパスギャラリーで「ブルース・オズボーンと親子写真」

**2007 5回目の「親子の日」**  
「親子の日スーパーフォトセッション」で100組の親子を撮影  
・オリンパスギャラリーで「親子の日報告写真展」  
・第1回「親子大賞」  
・愛知県児童総合センターで「親子」写真展  
・能登半島地震の被災者親子写真を撮影。ラポルト珠洲で展覧会  
・石川県珠洲市が「親子の日」を公式制定

**2008 6回目の「親子の日」**  
「親子の日スーパーフォトセッション」で100組の親子を撮影  
・オリンパスギャラリーで「親子の日報告写真展」  
・愛知県児童総合センターで「親子」写真展  
・埼玉県越谷市のレイクタウンで「親子&仲間」写真展

**2009 7回目の「親子の日」**  
「親子の日スーパーフォトセッション」で100組の親子を撮影  
・オリンパスギャラリーで(東京・大阪)「ブルース・オズボーン写真展～親子の日2009に出会った親子～」  
・東京ビッグサイト「Photo Imaging Expo 2009」で撮影とトークイベントに参加  
・毎日新聞が「親子インタビュー」の連載をスタート

・arpの“わたしのこえ”を第1回公式ソングと決定  
・川崎アートセンター企画の「夏休みは親子de映画」に参加  
・阪急三番街40周年記念イベント「親子」写真展  
・愛知県児童総合センターで「家族のうれしい顔」写真展

**2010 8回目の「親子の日」**  
「親子の日スーパーフォトセッション」で104組の親子を撮影  
・オリンパスギャラリーで(東京・大阪)「ブルース・オズボーン写真展～親子の日2010に出会った親子～」  
・滋賀県米原市が、「親子の日」の制定を宣言  
・MOOMINの「うまれたての瞳」を2010年公式ソングに決定  
・「親子大使」制度の導入  
・ブルース・オズボーンの写真「親子」が、International Photography Awardsを受賞  
・第4回キッズデザイン賞に入賞

**2011 9回目の「親子の日」**  
「親子の日スーパーフォトセッション」で110組の親子を撮影  
・オリンパスギャラリー(東京・大阪)で「ブルース・オズボーン写真展～親子の日2011に出会った親子～」  
・第1回被災地訪問プロジェクトで、福島県相馬市の親子を撮影  
・第2回被災地訪問プロジェクトで、岩手県の宮古市、大船渡市、釜石市、大槌町、田老町、宮城県の気仙沼市、南三陸町で親子撮影を実施  
・CIPAフォトエイドの助成を受けて、東日本被災地応援プロジェクト「TIE☆会いたい」スタート  
・「水源の里まいばら OYAKO “かけがえのないもの” with ブルース・オズボーン」展示会

**2012 10回目の「親子の日」**  
「親子の日スーパーフォトセッション」で110組の親子を撮影  
・オリンパスギャラリー(東京・大阪)で「ブルース・オズボーン写真展～親子の日2012に出会った親子～」  
・NHKワールドで、ブルース・オズボーンの活動を世界に向け発信  
・東日本被災地応援プロジェクト「TIE☆会いたい」のワークショップを、南三陸町、仙台市、大槌町、田老町、相馬市で実施  
・滋賀県米原市「R米原駅のステーションギャラリーで「かけがえのないもの～東北で出会った親子たち～」写真展示  
・静岡市美術館で「親子写真展～未来の私たちへの贈り物～」展示。ピーター・バラカンとトークショーも  
・「東日本大震災復興支援ブックレット」を制作  
・10周年記念イベントとして「親子」をテーマに映画の製作をスタート  
・赤坂サカス内赤坂ギャラリーで「TIE☆会いたい」報告写真展  
・兵庫県淡路市、南あわじ市で「TIE☆会いたい」報告写真展

**2013 11回目の「親子の日」**  
「親子の日スーパーフォトセッション」で103組の親子を撮影  
・オリンパスギャラリー(東京・大阪)で「ブルース・オズボーン写真展～親子の日2013に出会った親子～」開催  
・末広町3331で「TIE☆会いたい」で制作した作品展示会とワークショップ  
・新潟放送主催で「TIE☆会いたい」展示会とワークショップ  
・YMCA横浜が「TIE☆会いたい」展示会とワークショップ  
・JICAで「TIE☆会いたい」展示会  
・葉山芸術祭で「TIE☆会いたい」作品展示会とワークショップ  
・クーリーズクリークで、映画「OYAKO」の製作開始の発表イベント  
・世田谷ものづくり学校でワークショップ  
・銀座和光で「親子写真」の展示会  
・六本木の新世界でライブトークイベント  
・山口県下松市が「親子の日」の条例化を宣言  
・DAYS JAPAN主催イベント「いのちの地球に生きる」で被災地の親子写真展示  
・韓国で行われた写真館の全国会議で「親子の日」のセミナー  
・写真館協会のイベントに参加。日本写真館協会とのコラボレーション決定  
・沖縄県那覇市の識名園で親子撮影会  
・山口県下松市で展覧会と映画の試写上映会  
・ILCAの学校で映画のプロモーションイベント

**2014 12回目の「親子の日」**  
「親子の日スーパーフォトセッション」で105組の親子を撮影  
・オリンパスギャラリー(東京・大阪)で「ブルース・オズボーン写真展～親子の日2014に出会った親子～」  
・下松市と釜石市の高校生合同のワークショップ「TIE☆会いたい」を山口県下松市で実施  
・日本外国特派員協会(FCCJ)で、映画「OYAKO」プレス発表  
・逗子市なぎさホールで、映画「OYAKO」上映と写真展  
・箱根写真美術館で写真展  
・日本写真館協会が実施「第8回写真館賞」の審査員をつとめる  
・東京都写真美術館で、映画「OYAKO」の上映会を実施  
・山口県下松市での親子写真展示会&映画「OYAKO」上映  
・神奈川県庁と沖縄の桜坂劇場で映画「OYAKO」を上映  
・ネイチャーズベストフォトグラフィー・ジャパン授賞式で基調講演を横浜赤レンガ倉庫で行う  
・東北生活文化大学高等学校で「平和を想う日」講演&映画「OYAKO」を上映  
・一般社団法人日本記念日協会から「記念日文化功労賞」を授与  
・「湘南の親子の日」第7回撮影会

**2015 13回目の「親子の日」**  
「親子の日スーパーフォトセッション」で102組の親子を撮影  
・オリンパスギャラリー(東京・大阪)で「ブルース・オズボーン写真展～親子の日2015に出会った親子～」  
・映画「OYAKO」がベルリン国際映画祭(IFB)でベストドキュメンタリー賞受賞  
・逗子子どもフェスティバル、TAMA映画フォーラム実行委員会、加茂・久代・小学校区人権啓発推進委員会、お母さん業界新聞主催「乾杯パーティー」などで映画「OYAKO」の上映会  
・日本外国特派員協会(FCCJ)で「親子」写真展  
・シンガポールのSchool of the Arts Singapore(SOTA)でトークショー  
・沖縄県立博物館・美術館で写真展  
・第9回社会デザイン学会公開研究会に講師として出席

**2016 14回目の「親子の日」**  
「親子の日スーパーフォトセッション」で104組の親子を撮影  
・オリンパスギャラリー(東京・大阪)で「ブルース・オズボーン写真展～親子の日2016に出会った親子～」  
・在シンガポール日本国大使館主催の「親子」写真展、撮影会、映画「OYAKO」の上映会を実施  
・TSUTAYA「夏休み宿題大作戦」で「親子の日」についてスピーチ。子ども新聞のテーマとして提供  
・BSジャパン「ワタシが日本に住む理由」で、ブルース・オズボーン特集を放送  
・「親子の日」への高い評価をいただき、東久邇宮文化褒賞を受賞

**2017 15回目の「親子の日」**  
「親子の日スーパーフォトセッション」で108組の親子を撮影  
・オリンパスギャラリー(東京・大阪)で「ブルース・オズボーン写真展～親子の日2017に出会った親子～」  
・「親子の日」当日に5回目となるインターネット中継番組を配信  
・第14回目「写真コンテスト」、第12回目「エッセイコンテスト」、第11回「親子大賞」を開催  
・「親子の日」を条例化した山口県下松市で、5回目となる「くだまつ親子の日」イベントが実施される  
・日本写真館協会主催のコンテストで6回目となる審査委員を努める  
・日本写真館協会と協同で第4回目となる事業「親子の日には写真館へ！」を実施  
・DAC主催の第5回「親子の日絆(KIZUNA)コンクール」の審査委員長  
・NHK WORLD Japan-easy IIに、ブルース・オズボーンが出演  
・GLOCAL CAFÉ(東京)と福島コトひらく(郡山)とコラボ福島(福島)でふくしま「ふるさと写真の日」展を開催  
・日本外国特派員協会(FCCJ)で「Fukushima Photographic Journey」を開催  
・「ブルース・オズボーン親子の写真展～親子が繋ぐふるさととの心」を逗子文化プラザホールで  
・神奈川県葉山町 森戸神社で「～HAYAMA TIME～親子の数だけ親子の物語」を展示  
・イオンモール沖縄ライカムと沖縄ジュンク堂でブルース・オズボーンの「親子の写真展 in 沖縄」を展示  
・第5回目となる琉球補聴器主催の親子撮影会が、波の上みそら公園で実施



金沢21世紀美術館での「親子」写真展



Barefoot Studio撮影風景



被災地訪問プロジェクト



「親子の日」10周年集合写真



「東久邇宮文化褒賞」授与



シンガポールのJCCで写真展

